



2023年5月12日

各位

会社名 株式会社 安藤・間 (呼称:安藤ハザマ)
代表者名 代表取締役社長 国谷 一彦
(コード番号 1719 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 木野 敏久
(TEL. 03 - 3575 - 6094)

2023年3月期通期の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年11月8日に公表いたしました2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)

連結業績予想と実績値との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	377,000	23,200	23,100	17,700	108円38銭
実績値(B)	372,146	19,853	19,608	15,187	94円02銭
増減額(B-A)	△4,853	△3,346	△3,491	△2,512	
増減率(%)	△1.3	△14.4	△15.1	△14.2	
[ご参考] 前期実績 (2022年3月期)	340,293	26,600	25,838	17,671	98円84銭

2. 2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)

個別業績予想と実績値との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	353,000	21,800	22,100	17,200	105円32銭
実績値(B)	344,804	18,264	18,433	14,535	89円98銭
増減額(B-A)	△8,195	△3,535	△3,666	△2,664	
増減率(%)	△2.3	△16.2	△16.6	△15.5	
[ご参考] 前期実績 (2022年3月期)	315,867	24,114	23,939	16,558	92円62銭

3. 業績差異の理由

(1) 個別業績

売上高については、一部の大型工事の進捗率が当初想定を下回ったことにより、前回予想を下回りました。

売上高の未達に加え、一部の海外土木工事において採算が悪化したこと、前期に完成した国内土木工事において、補修工事費用の発生が見込まれたため完成工事補償引当金を計上したこと、一部の国内建築工事において労務・資材価格の高騰や想定以上の工程促進費用の発生等により採算が低下したこと、さらに、販売費及び一般管理費について、人件費や営業経費が前回

予想を上回ったため、営業利益、経常利益および当期純利益は前回予想を下回りました。

(2) 連結業績

主には個別業績の差異によるものです。

以 上